

財団法人鐘韻人間科学振興基金「研修医の短期海外研修のための助成金」により、今年度も10名の研修医がハワイ大学のシミュレーション研修へ行ってきました！5日間の研修を報告します！！



ハワイ大学 救急研修報告！

【参加研修医】

長崎大学病院(50音順)

浅井 幸、岩津 伸一、岡 哲、高谷 亜由子、高野 香菜子、千葉 章代、
濱口 陽、本田 智大

長崎原爆病院 浅井 昭宏

健康保険諫早総合病院 梅田 雅孝

長崎県島原病院 山口 将太*

長崎県五島中央病院 松坂 雄亮*

※ 新・鳴滝塾(長崎県医師臨床研修協議会)からの参加者

【引率者】宮本 俊之* (長崎大学病院 医療教育開発センター)

山下 和範* (長崎大学病院 救命救急センター)、田下 博* (長崎大学病院 シミュレーションセンター専任看護師)、野中 文陽* (佐世保市立総合病院 内科)



～Day 1 (2011.9.12)～

研修初日ということもあり、みんな緊張気味。午前はコースについての説明や医学英語の授業があり、午後からはシミュレーション実習だった。

インストラクターから英語での問いかけに対して、英語力不足で理解できなかったり、理解できても英語で答えきれない、声に出す勇気が出ない等もどかしさを感じた。また、ハワイ大学でレジデントとして活躍している瀧先生の話を知ることができ、日本とアメリカの医療の違いを知ることができた。日本での研修に不満を感じることもあったが、何事も貴重な機会だと思って積極的にやっっていこうと思った一日だった。



オリエンテーション



シミュレーター紹介



瀧先生の講演



不整脈患者への初期対応



別室でモニター中

～Day 2 (2011.9.13)～

午前は気管挿管の講義・実習と医学英語の授業、午後から Unstable Patient care の講義・実習があった。

座学と実践を繰り返して行うことで理解しやすくなり、実習中に教えてもらったことを、屋根瓦方式で他の人に教えることでさらに理解が深まった。

医学英語の授業では、ドラマを使った英語の聞き取りの練習をチーム対抗のクイズ形式で行った。こういう勉強の仕方だと楽しくて覚えやすいと感じた。

午後の実習は、6人ずつのチームに分かれ、めまぐるしく変化する病態に対してチームで対応するといった授業だった。目の前のことに一生懸命になり、チームの状況が把握できていない所もあった。まだ先生の問いかけに対して、何も答えられない状況があったので、明日はもっと積極的に頑張りたい。



Airway 確保の講義・実習 日本にない挿管道具もあり手技に没頭！



Unstable Patient care の講義と実習



